Polaroid

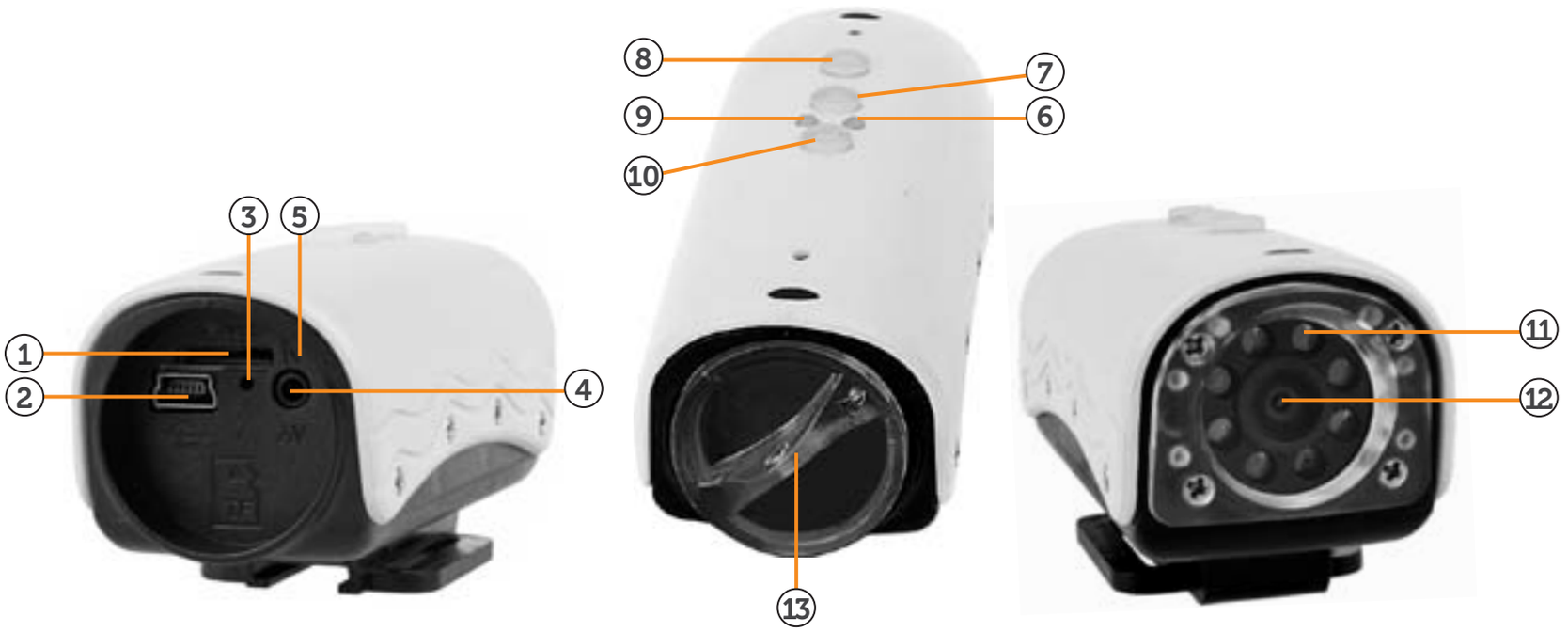
高解像度スポーツビデオカメラ

XS20

取扱説明書

www.polaroidaction.com

カメラの部品



1. MicroSDカードスロット
2. USB2.0コネクタ/充電レセプタクル
3. 充電インジケータ（赤色）
4. 音声/視覚的出力ジャック
5. リセットボタンとマイクロフォン
6. LEDライト（赤色と青色）
7. 録画/再生/実行
8. 照明スイッチ (8つ、4つのLEDライト、オフ)/ダウン
9. LEDライト（黄色）
10. 電源/モード移行/アップボタン
11. LEDライトの照明パネル
12. レンズ（広角）
13. 耐水性プラグ

ようこそ
当社のPolaroid XS20カメラをお買い上げ頂きありがとうございます。ここでは、XS20がどのヘルメット、また多くの種類のハンドルバーに取り付け可能であることをご説明します。また吸着カップなどその他のマウントは、近日中にpolaroidaction.comからお買い求めいただけます。新しいアクセサリの情報は、随時当社のウェブサイトをご覧ください。

パッケージ内容
- カメラ
- バイクマウント
- ヘルメットマウント
- カメラを入れるポーチ
- USBケーブル
- AVケーブル
- 説明書
- CD

警告と注意事項
ご使用前にXS20の後面カバーが完全に挿入、密封されていることをご確認ください。もし外部から異物や水がカメラ内に入ってしまった場合、電源をお切りください。このまま引き続きご使用されますと、カメラに損傷を起こす場合があります。
また、カメラを落としたり、損傷が起きた場合は電源をお切りください。引き続きご使用されますと、修理不能の損傷または/もしくは人為的な被害を及ぼす場合もあります。
このカメラには、ユーザーへのサービス提供となる部品がありません：決して分解しないでください!また、カメラを表面が不安定な場所に置かないでください。このような場所に置くことによりカメラを落としたり、傾けたりして損傷を起こす場合もあります。
修理が必要な方は、polaroidaction.comよりカスタマーサービスの詳細をご確認いただけます。
カメラはとても精密な機器です。お取り扱い時には決して落とす、叩く、または過剰な圧力を加えないでください。このようにお取り扱いすることにより、正常に機能しなくなる場合があります。
また、車内といった非常に高温になるような場所には置いたままにしないでください。高温な場所では、カメラのケースや内部の部品に故障を引き起こす場合もあります。
カメラを移動させる前には、コードとケーブルを取り外してください。これらを取り外さないままカメラを移動させますと、コードやケーブルに損傷を与える場合があります。
この製品は、エクストリームスポーツの動画撮影用カメラです。事故の際にカメラと身体への接触が起きないよう、固定の場所には設置しないことにお気を付けください。

防水プラグ
防水ハウジングにより、本製品は水深60フィート（約18メートル）の深さに到達するまで作動します。湿潤状態で使用する際にカメラを保護するには、防水プラグでカメラの操作パネルを密封してください。
完全に密封しないと水漏れが生じ、カメラの損傷もしくは故障の原因となります。ユーザーの不注意による水害故障は、補償の対象にはなりません。

バッテリーの充電

1. 1. カメラ後部にあるウォーターシールを剥がしてください。
2. USBケーブルをご使用のコンピューターに挿入し、コードのもう一方側をカメラのUSB 2.0コネクタに接続してください。.
3. 充電インジケータライトが赤く点灯します。
4. 充電が完了しますと、充電インジケータライトが消灯します。＜ご注意＞完全に電池切れバッテリーの充電が完了するには約3時間かかります。充電時間を減らすには、ご使用後に毎回充電するようご推奨します。
5. カメラとコンピューターにUSBデータケーブルが接続されている場合バッテリーは充電されますが、充電速度はとても遅いです。従って、充電する際は電源アダプタ（別売り）をご使用するようご推奨します。

カメラの電源をオンにする

1. MicroSDカード(1GB - 32GB)をMicroSDカードスロットに挿入してください。
2. 電源ボタンを2秒間押し続け、指を離してください。
3. 青色のLEDインジケータライトが点灯し、カメラ本体が振動します。振動が止まりますと、カメラのスタンバイモードが開始します。＜ご注意＞カメラの電源をオンにする際に青色のLEDライトが点滅した場合、スロットにMicroSDカードが挿入されていないことを示します。電源を切り、フラッシュカードを挿入してください。内部メモリはありません。全ての画像は、ご用意されたフラッシュカードに録画されます。
4. カメラの電源をオフにするには、電源ボタンを2秒間押し続け、指を離してください。
5. 青色のLEDライトが3回点滅し、消灯します；カメラは2回振動し、電源がオフになります。＜ご注意＞フラッシュカードのメモリがフルになり、ループ機能がオフの場合、カメラは自動的にオフになります。

画像の選択/撮影モード

1. 電源ボタンを2秒間押し続け、指を離してください。
2. 青色のLEDインジケータライトが点灯し、カメラ本体が振動します。振動が止まりますと、カメラのスタンバイモードが開始します。
3. 電源ボタンはモード移行ボタンへとなり、4つの異なるモードへとループします。このボタンを押すことにより、以下のモードを選択できます：
   モード 1
   手動による動画の録画
   (LEDライトは青色)
   モード 2
   手動による写真の撮影
   (LEDライトは赤色)
   モード 3
   モーション検知による動画の録画
   (LEDライトは青色と黄色)
   モード 4

モーション検知による写真の撮影
(LEDライトは赤色と黄色)

4. いずれかのモードを選択後、モードが開始されたことを表すようカメラは一回振動しますので、それまでお待ちください。LEDライトの点滅が点灯に変わるまで、選択したモードを使用することはできません。

動画の録画

1. カメラの電源をオンにし、手動による動画撮影モードに設定してください。(モード 1を選択するには、“画像の選択/撮影モード”をご確認ください。)
2. 手動による動画撮影モードで、実行ボタンを1回押してください。カメラが1回振動、青色のLEDライトがゆっくりと点滅し、動画の録画が開始されます。
3. 動画の録画を停止するには、再度実行ボタンを押してください。青色のLEDライトは点灯へと切り替わり、録画は停止され、カメラはスタンバイモードになります。
4. 動画は20分を一部分として録画でき、録画が20分に到達した際には一旦動画クリップはカメラの機能により保存され、自動的に新しいファイルで録音が再開されます。

静止画像の撮影

1. カメラの電源をオンにし、手動による写真撮影モードに設定してください。(モード 2を選択するには、“画像の選択/撮影モード”をご確認ください。)
2. 実行ボタンを1回押してください。
3. カメラが1回振動するまで抑えてください。
4. 振動が止まった直後に写真が撮影されます。
5. 写真を撮影している際に赤色のLEDライトはオフになります。

モーション検知による動画の録画

1. カメラの電源をオンにし、モーション検知による動画の録画モードに設定してください。(モード 3を選択するには、“画像の選択/撮影モード”をご確認ください。)
2. このモードでカメラは、移動するオブジェクトの動画クリップを自動的に、プリセットされた10秒、1分、5分、10分のいずれかの長さで撮影します。撮影したクリップは自動的に個別のファイルとして保存され、直後に同じ長さの動画の録画が開始します；個別のファイルとして保存され、録画を手動的に停止させるまでこのプロセスは繰り返し行われます。
3. フラッシュカードのメモリがフルになり次第、カメラは自動的に録画された一つ目のクリップを消去し、最新の動画へと上書きします。この手順は“ループ録画”と呼ばれ、以前に録画した動画クリップと静止画像が対象となります。
4. このカメラによるループ機能（以前に録画した画像の上書き）を防止するには、フラッシュカードのメモリがフルになり次第、録画を停止するようプログラミングできます。この操作を行うには、この説明書にある“システムパラメータの設定”からご確認いただけます。

モーション検知による写真の撮影

1. カメラの電源をオンにし、モーション検知による写真の撮影モードに設定してください。(

モード 4を選択するには、“画像の選択/撮影モード”をご確認ください。)
2. 実行ボタンを1回押してください。カメラは、対象物の動きを感知すると共に静止画像として写真を撮影します。
3. ループモードの場合、カメラは移動する対象物の静止画像を撮り続けます；フラッシュカードのメモリがフルになり次第、その後に撮影された写真は他の写真を上書きし、保存されます。
4. ユーザーが実行ボタンを押すまで、移動する対象物の写真を撮影し続けます。 .
5. 動画の録画と同様に、ループ撮影を停止できます。この操作を行うには、この説明書にある“システムパラメータの設定”からご確認いただけます。

照明パネルの操作

1. このカメラには、撮影の対象物を明るくする、鮮明で白い8つのLEDライトがあります。LEDライトを操作するには照明ボタンを押してください。
2. はじめて照明ボタンを押した際、8つ全てのLEDライトがオンになります。
3. 照明ボタンを押すのが2度目の場合、4つのLEDライトへと減少します。
4. 照明ボタンを押すのが3度目の場合、照明パネルボタンをオフへと戻します。
5. 照明パネルは、4つの写真撮影モードのいずれかのモードで作動します；テレビ出力再生モードでは作動しません。

画像のダウンロード

方法 1
カメラを使用し、ファイルを閲覧します…
1. カメラを“オフ”モードにし、ご使用のコンピューターからUSBケーブルでカメラのUSB2.0コネクタに接続してください。
2. カメラの電源が自動的にオンになり、Windowsエクスプローラが起動し、新しいリムーバブル・ディスクを認識します。
3. “DCIM/100DSCIM”という名前のフォルダから写真や動画を閲覧でき、また、Windows Media Playerもしくは同等のプログラムで再生できます。＜ご注意＞ご使用のコンピューターがUSBバージョン1.1を搭載している場合、不調和な再生を防止するよう最初にデスクトップに動画ファイルをコピーしてください。

方法 2
フラッシュカードから直接ファイルを閲覧します…
1. カメラのMicroSdカードスロット 0からメモリーカードを取り外してください。
2. SDカードアダプタ（別売り）にMicroSDカードを挿入してください。
3. ご使用のコンピューターにある内臓型カードリーダーもしくは非接触型カードリーダー（別売り）にカードアダプタを挿入してください。
4. Windowsエクスプローラを開き、カードリーダーのSDスロットに割り当てられたリムーバブルディスクドライブをクリックし、閲覧したいファイルをダブルクリックしてください。

PCのカメラ機能

1. ソフトウェアCDからドライバプログラムをインストールしてください。

2. カメラの電源をオンにし、振動が止まり次第USBケーブルを使用してカメラをコンピューターに接続してください。
3. ケーブルを挿入すると、“マイコンピューター”にカメラアイコンが表示されます。これにより、カメラはPC用のカメラとして機能します。
4. 無料プログラムであるAMcap 9.20といったサードパーティアプリケーションをご使用の場合、リアルタイム動画を閲覧し、コンピューターに保存できます。＜ご注意＞カメラのLED照明パネルは、動画の質を高めることもできます。

充電中に動画の撮影

1. USBケーブルをご使用のコンピューターに挿入し、コードのもう一方側をカメラのUSB 2.0コネクタに接続してください。
2. カメラの電源が自動的にオンになり、スタンバイモードが開始します。これにより、カメラは以前の項目で説明した機能をご使用できます。＜ご注意＞カメラの使用を停止したことにより自動的に電源がオフになった場合、充電しているUSBコードを取り外し、5秒間お待ちいただいた後にケーブルを再接続してください。

テレビ出力機能

1. AVケーブルをカメラのAV出力端子に接続し、もう一方側を次のようにテレビ受信機のビデオ入力に接続してください：黄色のピンフラグをテレビのビデオ入力端子へ、白色のピンフラグをテレビの音声入力端子へ。
2. ビデオインコンポジット端子を選択できるようテレビ出力を切り替えてください。(この操作をお分かりにならない場合、テレビのユーザーマニュアルをご確認ください。)
3. カメラの電源をオンにすると赤色と青色のボタンが両方点灯し、最後に閲覧した写真もしくは動画が表示されます。
4. 録画した動画を手動的に再生するには、画像の中をナビゲートするよう上もしくは下ボタンを押してください。
5. テレビ画面の右上にビデオカメラアイコンが表示され、動画を閲覧したい場合、実行ボタンを押してください。
6. 録画したファイルを自動的に再生する場合、実行ボタンを押してください。写真が再生している場合、各スライド間が5秒となるスライドショー形式として表示されます。
7. 次のファイルが動画の場合、その動画全体を一回再生します。＜ご注意＞動画クリップの再生時間が長い場合、動画が再生するまでのローディングに時間がかかります。
8. 自動再生を停止するには、実行ボタンを押してください。
9. 自動再生を終了するには、電源ボタンを押してください。

モーション検知の監視モード

1. AVケーブルをカメラのAV出力端子に接続し、もう一方側を次のようにテレビ受信機のビデオ入力に接続してください：黄色のピンフラグをテレビのビデオ入力端子へ、白色のピンフラグをテレビの音声入力端子へ。
2. ビデオインコンポジット端子を選択できるようテレビ出力を切り替えてください。(この操

作をお分かりにならない場合、テレビのユーザーマニュアルをご確認ください。）
3. モード移行ボタンを押して下さい；黄色と青色のライトが同時に点灯します。
4. テレビに動画が映され、カメラは自動的にモーション検知モードへと設定されます。
5. カメラビューに映し出された対象物が動きましたら、自動的にカメラはシステム設定でプログラムされた時間通りの長さ分(10秒、1分、5分もしくは10分).を録音します。
6. 再度モード移行ボタンを押してください；ボタンのライトは黄色と赤色へ変更し、カメラのモーション検知による写真の撮影モードが開始します。
7. この時点でカメラがモーションを検知した場合、対象物の静止画像を撮影します。
8. カメラのモーション検知モードでは、録画した物をループします。メモリカードがフルになりますと、このモードでは以前に録画したファイルが消去され、新しく録画されたファイルへと置き換えられます。(次の項目でも明記されていますが、ループ録画はシステム設定手順でもオフにできます。）
9. モーション検知による録画モードを終了するには、電源ボタンを押してください。

システムパラメータの設定

1. AVケーブルをカメラのAV出力端子に接続し、もう一方側を次のようにテレビ受信機のビデオ入力に接続してください：黄色のピンフラグをテレビのビデオ入力端子へ、白色のピンフラグをテレビの音声入力端子へ。
2. ビデオインコンポジット端子を選択できるようTV出力を切り替えてください。(この操作をお分かりにならない場合、テレビのユーザーマニュアルをご確認ください。）
3. 実行ボタンを3秒間押し続けてください。
4. テレビ画面に設定が可能なシステム項目の一覧が表示されます。
5. 項目を選択するには、素早く実行ボタンを押してください。
6. パラメータ設定の選択は、上もしくは下ボタンを使用してください。
7. 選択を決定後に素早く実行ボタンを押すと、選択したものを録音します。
8. 次の項目のパラメータを設定するには、ステップ6と7を繰り返してください：
   ハイクオリティ、スタンダード、エコノミー (これは動画の解像度を設定します。ハイクオリティは最もメモリを消費；エコノミーは最も小さいファイルサイズとなりますが、最も動画の質が低くなります。）
   モーション検知によるキャプチャ時間 - 10秒、1分、5分、10分
   モーション検知による自動消去 - この機能がオンになっている際にメモリカードがフルになった場合、以前のファイルは上書きされます；この機能がオフになっている際にメモリカードがフルになった場合、どのファイルも消去されないままカメラの電源は自動的にオフになります。
   データインプット - 正しい日付と時間を設定します。
   光周波数 - 国別に電力供給の周波数を設定します(アメリカは60)。
   テレビ出力 - 国別にテレビの動画出力形式を設定します(アメリカはNTSC)。
   言語 - ご使用の言語を選択します。
   システムのリセット - キャンセル/実行(システムをリセットするには“実行”を選択し、素早く実行ボタンを押してください。）
   タイムスタンプ - “日付と時間”もしくは“オフ”を選択してください。

バージョン - ソフトウェアのバージョンとそれに関連する情報を閲覧できます。

コンピューターによりシステム時間を設定

1. カメラをオフにしてください。
2. USBケーブルを使用し、カメラとご使用されるコンピューターのUSBポートへと接続させてください。
3. (同封のCDから)U-diskを開いてください。
4. 新しく“time.txt”ファイルを作成してください。
5. “time.txt”ファイルを開き、次の時間と日付形式を入力してください：“年.月.日 時:分:秒 オン/オフ” ＜ご注意＞明記されている通り、“日”と“時”、“秒”と“オン”の間にはスペースを入れてください。
6. 次の形式を使用し、実際の日付と時間を入力してください：
   (例：2012年5月15日　3時25分20秒)
   動画付きのタイムスタンプには…
   2012.05.15 15:25:20 Y
   動画が付かないタイムスタンプには…
   2012.05.15 15:25:20 N
   ＜ご注意＞時間は15:00が3 p.m.というように24時間形式で入力してください。
7. time.txtファイルを保存、安全にプログラムを終了し、コンピューターとカメラの両方に接続したUSBケーブルを取り外してください。
8. 次にカメラをオンにする際、システム情報は更新されています。＜ご注意＞長い間カメラをご使用されなかった場合、バッテリーが完全になくなっており、システムのタイムスタンプ設定は工場出荷時状態のデフォルト設定に戻ります。ステップ1から6を繰り返し行い、再度更新してください。

システムリセットの実行

カメラのバッテリーが十分に充電されており、それでもカメラが起動しない場合、マイクロフォンの穴のところにあるリセットボタンを小さなピンで押してください。

バイクマウント

1. ハンドルバーにある締め付けボルトが完全に揺れ動くまで緩め、クランプが完全に開くようにしてください。
2. バイクなど、実際のハンドルバーにハンドルバークランプを巻きつけてください。
3. お好きな場所にハンドルバークランプを設置、クランプを閉じた後にボルトをスライドさせ、クランクボルトがその位置に固定するよう硬く締めてください。
4. ハンドルバーマウントを取り外すには、上記のステップを逆から行ってください。
5. クリック音が聞こえるまでマウントの上にカメラをスライドさせてください。
6. カメラを取り外すには、高さのレベルを下げてから移動させてください。

ヘルメットマウント

1. ヘルメットで、ヘルメットマウントを設置する場所の表面をきれいにしてください。

2. 3Mの粘着ステッカーを しっかりと貼り付けてください。
3. 貼り付けたステッカーの反対側にヘルメットマウントを取り付けてください – 最も強固に付着ささせるには、一晩置いてください。
4. 付属する標準とL型のジョイントにより、ヘルメットマウントはヘルメット上部もしくは側面で使用できます。
5. クリック音が聞こえるまでジョイントをナットからマウントまで通し、ナットを硬く締めてください。.
6. クリック音が聞こえるまでマウントの上にカメラをスライドさせてください。
7. カメラを取り外すには、高さのレベルを下げてから移動させてください。

仕様

画像センサー：5MP CMOS センサー
写真：5MP
動画：720p (1280X720p)、FPS 30
写真のファイル形式：JPG (2560X1920)
動画のファイル形式：AVI HD
音声のファイル形式：PCM
オートモーションの録画時間：10秒、1分、5分、10分
3つの動画品質モード：高画質、標準、低画質
FOV（視野角）：120度
動画の出力形式：NTSC、PAL
バッテリー容量：3.7V、850mah
録画可能時間：3時間 (LEDライトを未使用の場合)
充電時間：3時間
照明機能：4もしくは8つのLEDライト
USB：USB 2.0
メモリーカード：Micro SD
メモリー容量：1-32gb (クラス6もしくはそれ以上)
水深：20メートル
重さ：2.65オンス（約75グラム）
寸法：3.5インチx1.61インチx1.42インチ（8.9センチx4.1センチx 3.6センチ）″

PLR IP Holdings（有）とこの被許諾者ならびに関連企業は、全ての発電ごみの主導権を握ります。環境保全の管理企業として、また、制定された法律の侵害を防ぐため、居住周辺地域で適用される規定、方針、その他の管理基準に従いこの製品を適切に処置してください。本製品の適切な処理場所を決定させる際は、地元当局もしくは本製品のご購入先である小売業者にご確認いただくようお願いします。
また、ご自宅近くの収集施設の場所を示す周辺地域の特定な規定の詳細は、www.polaroid.comでご確認いただけます。
もし、お持ちの電気機器に個人もしくはその他の機密データが保管されている内部メモリを含むようであれば、機器の処理前にデータの浄化プロセスを行い、第三者が個人データにアクセスできないようにすると良いでしょう。データの浄化は製品とソフトウェアの種類によってその方法が異なりますので、機器の処理前に最も適する方法を検索してください。また地元のリサイクリング施設に、リサイクル行程におけるデータの浄化過程を確認すると良いでしょう。

Polaroid、Polaroid & Pixel、Polaroid Classic Border Logo はすべて米国PLR IP Holdings社の商標であり、同社のライセンスを受けて使用しています。
米国PLR IP Holdings社は本製品の製造を行っておらず、メーカー保証およびサポートは提供しません。
Zink®技術、および商標はZINK Imaging社の所有であり、同社のライセンスを受けて使用しています。

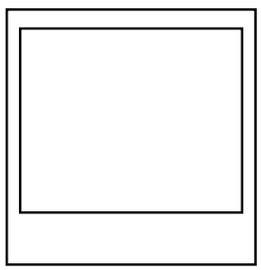
流通業者: C&A Licensing, LLC, 2 Bergen Turnpike, Ridgefield Park, NJ 07660 USA

© 2012 無断複写・転載を禁じます

中国製

製品の機能、仕様、外観は予告なしに変更することがあります。

www.polaroidaction.com



™

Instantly recognizable. Instantly reassuring. The Polaroid Classic Border lets you know you've purchased a product that exemplifies the best qualities of our brand and that contributes to our rich heritage of quality and innovation.